

小牧市母子保健推進協議会から生まれた 「生と性のカリキュラム」

～心豊かにいきいきと生きる力を持つ
子どもの成長につなげていくために～

令和4年9月26日

愛知県小牧市

野口弘美

小牧市の概要



小牧市は、名古屋市の北約15km、濃尾平野のほぼ中央に位置しています。3大高速道路のジャンクションとして、また県営名古屋空港も近くにあり、物流面で便利な街です。

人口：150,684人 (R4.4.1現在)

出生数：961人 (R2.4.1～R3.3.31現在)

(参考 H9年 1,615人)

出生率：6.3 (R4.4.1現在)

(参考 H9年 11.5)

高齢化率：25.21%

市のシンボルは、織田信長が築城した小牧山



小牧市母子保健推進協議会 (平成9年度設置)

▶ 設置目的

すべての母子が健やかに成長できる地域づくりを目指し母子を支援する関係機関がお互いの役割を明確にし連携を深める。

▶ 所掌事務

- 1 母子保健関係機関の連携
- 2 母子保健事業の企画及び実施に関すること
- 3 その他母子保健の推進に必要なこと

小牧市母子保健推進協議会 (平成9年度設置)

- ▶ 組織 (13人：平成9年当時)

医師会の代表、歯科医師会の代表、教育関係者
保育関係者、行政関係者、
臨床心理士、助産師

- ▶ 事務局 保健センター母子保健係

小牧市母子保健推進協議会

年	取組み
平成10年～	市独自の親子（母子）健康手帳の作成
平成11年6月～	市独自の親子（母子）健康手帳の交付
平成13年	第2次小牧市母子保健計画策定
平成14年～	保健連絡員による赤ちゃん訪問
平成15年～	生と性の教育（生と性のカリキュラム）作成
平成17年4月～	生と性のカリキュラム =乳幼児・親・地域版= の推進
平成18年	自己肯定感獲得DVD「みんなちがってみんないい」の作成
平成19年4月～	生と性のカリキュラム =小学校・中学校版= の推進

生と性の教育への検討 = 生 =

▶ 命の大切さ、尊さを知る

- ・「命は大切、一度限りのものである」という認識がない子どもの姿がある。
⇒ゲーム機でリセットをすれば生き返ることに慣れる。
- ・感情の起伏が激しい、気持ちのコントロールができない子どもの姿がある。
⇒子どもが殺人、子どもの自殺などが報道される。
子どもの問題行動の低年齢化

▶ 自己肯定感が大切

- ・自分（心と体）を大切にできない子どもの姿、親の姿がある。
⇒わたしはかけがえのない存在である。自分を認め、肯定する。
⇒わたしもあなたも大切な存在であることを認識し行動する必要がある。

生と性の教育への検討

▶ 性教育の現状（平成13年当時）

- ・ 親も性教育を受けていない
- ・ 野外学習の前の生理教育
- ・ AIDS教育
- ・ 中学校では年間1時間の性の授業と各教科で教えている
- ・ 性を知るツールは、雑誌、ビデオ、テレビであり、周りの大人からというものは無いに等しい（アンケート結果）

▶ 生と性の教育で必要なこと

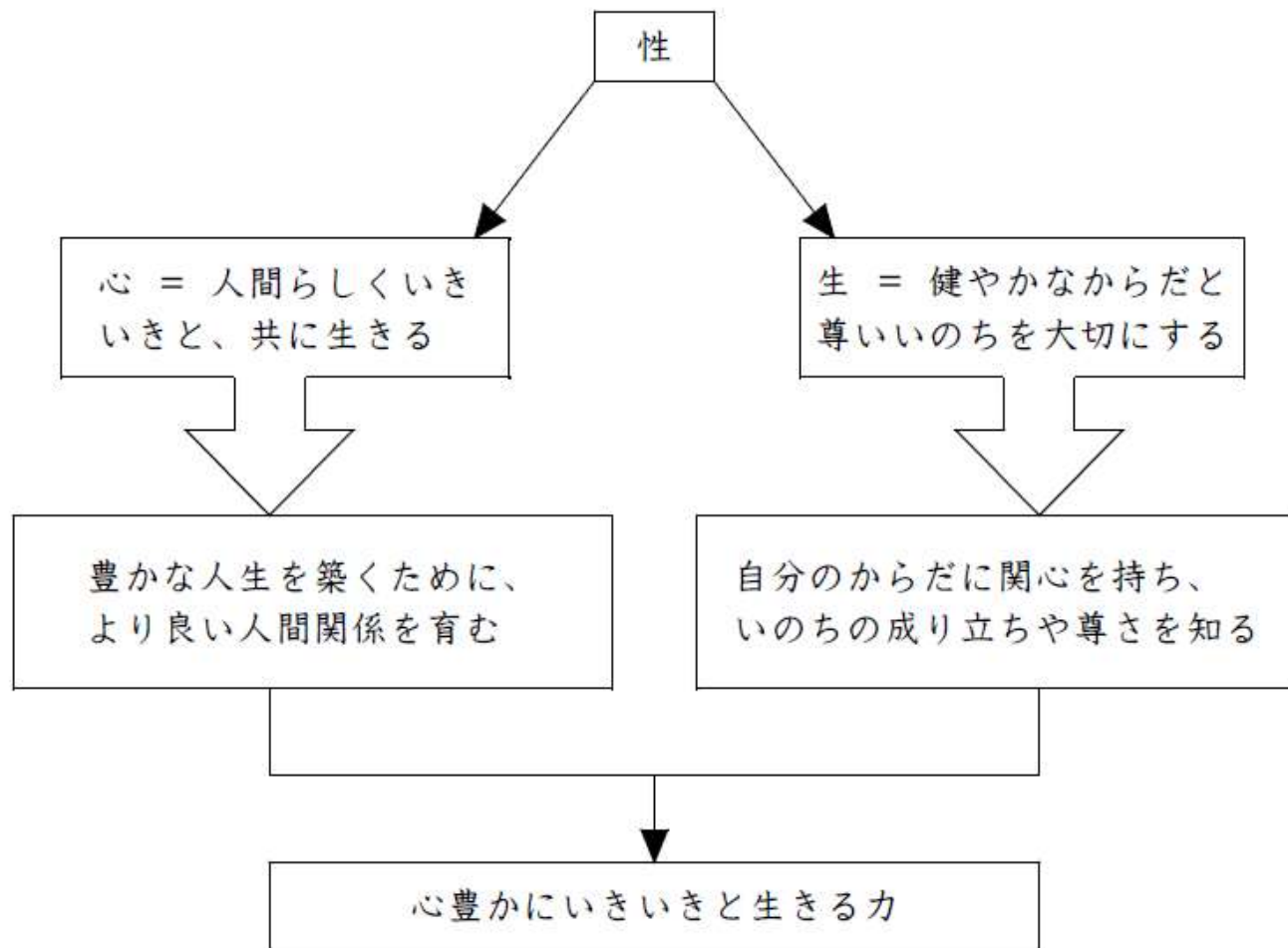
- ・ 親も性教育を受けていない
- ⇒ 親も子も正しい知識を知ることが必要（親以外の地域の大人も）
- ・ 学校では学問として、教科ごとに分かれている
- ⇒ 保健体育、理科、生活科、道徳、特別事業等関連付けていく
- ・ 生きている中に性を取り込む必要
- ⇒ 生きていくための基本、人間形成

生と性の教育への検討 = 生と性 =

▶ 検討から

「性」を人として生まれてから死ぬまでの
生き方の問題として教えていくことが大切
⇒細切れでなく、発達に応じトータル的に
実施できるカリキュラムとして作成する

小牧市における 性の概念



性の概念をもとに「生と性のカリキュラム」を作成

▶ カリキュラムの役割やねらい

- ① 判断できる力と自己決定できる力を持つことができる
- ② 市内の子どもたちがみな同じ性の教育を受けることができる
- ③ 発達段階に応じた性を伝える
- ④ 生きる力を持つ、人と関わりをもつことができる力をもつ
- ⑤ 「自分が大切」そして「相手も大切」である

▶ カリキュラムの作成

- ① 関係機関が関わり合いながら共有できるもの(明文化したもの)を持ち、継続的に実施できるカリキュラムを作成
- ② 家庭や地域、小中学校で実施できる内容を作成

生と性のカリキュラム 冊子



推進の実際

▶ さて・・・

どのように推進していこうか・・・

作成したものを実際に活用していくためには・・・

- ① 事業計画の作成（目的、方法等）
- ② 関係機関との調整
- ③ カリキュラム実施のための予算の確保
- ④ 人材確保

▶ 準備は整ったが・・・

スタートは実施できるところから（当初は、小中学校2校くらい）

推進の実際

= 乳幼児・親・地域版 = (例)

平成17年3月作成

対象	実施者が意識していくこと	具体策 (方法や手段)	実施者
親	正しい「性」の知識を親に伝える 親自身が意識していくことができるように伝える ① 自己肯定感を持つことができる親 ② 子どもが愛されていると自覚できる ように関わることができる親 ③ 子どもが自己決定ができるように導 くことができる親 ④ 子どもの成長発達を理解し、発達課 題の獲得に向けた関わりができる親	知識を伝える 親子健康手帳交付 乳幼児健康診査 園の行事等 健康教育、講座等	保健センター 保育園 幼稚園 学校 保健連絡員 民生委員・児 童委員 主任児童委員 医療機関 地域の人々

推進の実際

= 小学校・中学校版 = (小学校例)

初版：平成19年3月作成

学年	主題	生	性
1	わたしのいのち	知らない人にはついて いかない	どこがちがうの 男の 子 女の子
2	いのちのはじまり	わたしの たいせつないのち	おへそのひみつ
3	いのちのバトン	ゲーム(遊び)とわたし	未来にいのちをつなげ るために
4	いのちを守る	自分やまわりの人を 大切に	かわっていく、ぼくた ちわたしたち
5	すばらしいいのち	男らしさ 女らしさに ついて考えよう	すばらしい命～生命の たんじょう～
6	いのちを見つめる	自分で守る 心と体	エイズ とともに生きる

学校におけるとりくみ

～いのちから学ぶ自己肯定感



オギャー、うまれたよ！！



おなかの中の赤ちゃん

「自分もこんな風に大きくなった」



推進の実際

= 小学校・中学校版 = (中学校例)

初版：平成19年3月作成

学年	主題	生	性
1	自分を生きる	心を守る からだを守る	自分らしさって何だろう
2	ともに生きる	手軽な出会いにひそむ 危険	人を好きになる心 ～異性との付き合い方 について考えよう～
3	社会に生きる	すてきな大人になろう ～自立って何だろう～	すてきな大人になろう ～性感染症の予防～

中学校における取組 性感染症の予防

もしかしたら、つながってるかも…
「ただ一度の経験」の背後には…？

- 誰もが感染する可能性を持っています
- 性感染症は愛では防げない



▶ 感染拡大の実験

生徒間で小カップに入れた水または石灰水（感染者）を交換し合う。（どちらも透明色で色だけではどちらが石灰水かはわからない）

小カップの水と石灰水を数人で交換し合う（不特定接触）

フェノールフタレイン溶液を入れて色の変色を見る

薄ピンクに染色された場合は交換時に感染をした。

すてきな大人になるために(今日のまとめ)

- 1 「自分と相手の心と体」を
守ることの出来る知識をもつ
- 2 今の行動が将来の自分に繋がる
可能性を見通し、自分の行動に責
任を持つ
- 3 自分で考えて生き方を選択する

心も体も成長していく
あなたたちへ



生まれてきてくれてありがとう

家族や周りに支えられ
15年の成長



大人になり新しい命を育む立場

自己肯定感を育むための 取り組み



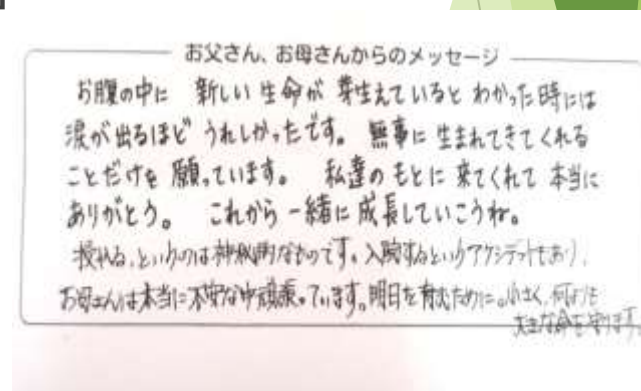
生と性のカリキュラム推進の関連事業 (保健センター事業)

- ▶ 小牧市独自の親子健康手帳の作成
- ▶ 親子健康手帳の個別交付
- ▶ 乳幼児健診
- ▶ 自己肯定感獲得動画



「みんなちがってみんないい」

- ▶ 保健連絡員による赤ちゃん訪問
(赤ちゃん訪問学習会の実施)
- ▶ 安心相談カードの配布
- ▶ 出前講座 自己肯定感を高めよう





出 産



親子健康手帳交付



赤ちゃん訪問



大学・社会人

高等学校



乳幼児健診



就 園



小学校



中学校

小牧市の生と性のカリキュラムの自画自賛

- ▶ 小牧市で成長するこどもたちが、同じ年齢で同じ内容「生と性」について学ぶことができる。
- ▶ 親子健康手帳を活用して自分の成長を確認し、自分を大切にできる気持ちを醸成している。
- ▶ 子どもから大人までの生と性の教育ができるよう、関係機関や関係者が目指す姿（いきいきと生きる力）に向けて気持ちを一つにして取り組んでいる。

今後の課題

- ▶ 学校で実施する授業は
生徒の発達に合わせて
学校のニーズに合わせて（伝えきれないこともある）
- ▶ 後期思春期から青年期の若い世代が自分の体を知る機会が
少ない
- ▶ 性の多様性への配慮

最後に

こんな親子の姿を目指して

自分も周りの人も大切に思う、感動する心をもつ、
目的のある生き方ができる。

親子がともにはぐくみあうことができる。

- ▶ 母子保健推進協議会から生まれた「生と性のカリキュラム」は市民や親子、関係者が同じ方向を向き進めていくことができるカリキュラムです。実施できる場所が大切、
- ▶ 時代に合わせて継続することが大切

みんなちがって みんないい

好きな自分、きれいな自分も
かけがえのない自分
あなたも私の大切な人



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki